

会議録

会議の名称	第7回西東京市教育計画策定懇談会
開催日時	平成20年11月19日 午前9時30分から11時30分まで
開催場所	保谷庁舎3階 第2会議室
出席者	(委員) 田中委員、倉島委員、大橋委員、清水委員、山田委員、松本委員、村田委員、石井委員 (欠席) 北岡委員、本領委員、操野委員、上田委員 (事務局) 青柳教育企画課長、清水企画調整係長、坂本企画調整係主事
議題	1 第6回会議の会議録の確認について 2 西東京市教育計画素案の検討について 3 その他
会議資料の名称	資料1 第6回懇談会 会議録(未定稿) 資料2 次期西東京市教育計画素案(未定稿)(平成20年11月18日現在)
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名： 発言内容</p> <p>座長：大詰めの段階になってきた。本日はまとめの部分の訂正と社会教育にかかわる部分を議論する。</p> <p>事務局：資料確認、会議録の確認及び資料の内容説明。</p> <p>座長：教育委員会の目標は初めて出てきたが、これについても意見をいえるのか。</p> <p>事務局：案ではあるが、教育委員会で既に議論したもの。意見があれば伝えることは可能である。</p> <p>座長：文言が重複している気がする。これについても意見を聞いておくのもよいと思う。</p> <p>座長：教育目標について意見はあるか。</p> <p>座長：個人的意見だが、文言がこなれていない気がする。昨今の諸事情を含めるような工夫があったらよいのではないか。</p> <p>A委員：3番目「自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな市民」の項目が先にあったほうが、個人から社会への広がりニュアンスがあってよいのではないか。</p> <p>座長：「すべての市民」か「市民すべて」なのかとか、「市民社会」という語句を入れるとか、表現方法を考えたほうがよい。</p> <p>B委員：どういうまちにしたいかが先にあるべき。市の目指すべき姿について、順番も含めて考えて欲しい。</p>	

座長：「資料No.2の巻末参考資料No.3」について、前回の意見が反映されているかを確認しながら意見を言って欲しい。

C委員：14頁の道德教育の事業に規範意識の欠如に対する項目を含めるべき。

座長：現場では道德教育は評価しにくい面があると思うがどうか。

D委員：道德教育については、授業だけでなく学校全体の意識が重要。ボランティア活動などにも道德教育の側面が含まれている。

座長：「(3)社会や自然との豊かなふれあいによる体験学習の推進」の事業は多いが、「(2)道德教育の推進」の事業は少ない。

E委員：道德教育は学校のみだけではなく、家庭教育にも関連する。また、学校の校則を守らせるということもある。

F委員：規範意識の形成はいろいろな事業に含まれる。

座長：「地域と一体となった、規範意識を高めるための活動の推進」といったようなニュアンスの文言ではどうか。

G委員：ある程度は具体的な取り組みを掲げたほうがよいが、確かに「(1)人権教育の推進」の事業と同じレベルの項目があったほうがよい。

座長：校則を守ることと規範意識は必ずしも一致するものではない。具体案はここでは出ないので、事務局で規範意識をベースにして考えて欲しい。

事務局：規範意識がキーワードでよいか。

座長：それでよい。

H委員：道德=規範ではないことは留意すべきである。

座長：それでは社会教育の部分について、生涯学習推進計画のどういう部分を抽出したのか事務局から説明をして欲しい。

事務局：内容説明。(生涯学習推進計画は教育委員会の所管以外の要素もある。教育委員会の所管する部分や、関連する部分をまとめている。)

座長：「3-(2)家庭の教育力の向上」について何かあるか。「子ども家庭教育」という言葉はどうか。

事務局：造語ではあるが、西東京市には「子ども家庭支援センター」がある。

I委員：「子ども」と「家庭」の間に中点を入れてはどうか。

座長：体系の柱ではわかるようにしたほうがよい。固有名詞の部分はよい。

J委員：「子ども家庭支援」という言葉は使われている。注釈を入れればよい。

K委員：現行計画では「子育て支援」だった。

事務局：表現の仕方等については、工夫する。

座長：「3-(3)社会教育の特色を生かした青少年教育(中・高校生)への支援」について。これらは新規事業か。

事務局：基本的には、前計画からの継続事業である。

座長：これまでの事業評価はあるのか。

事務局：第3回西東京市教育計画策定懇談会の資料No.3で既に配布してある。

座長：「4 いつでも・どこでも・だれでも学べる社会の実現」についてはどうか。

事務局：「4 いつでも・どこでも・だれでも学べる社会の実現」は学校教育だけではなく、社会教育全体を対象としている。

座長：学校との連携は？

事務局：学校との連携については、「3 社会全体での教育力の向上」の中で述べている。

M委員：公民館の利用の際には、保護者も一緒にかかわることはできないか。

事務局：68ページで人材利用について記述している。

座長：その他の部分について何かあるか。

N委員：21ページで「市民とともに」という言葉が抜けたようだが、その視点は重要。

座長：「市民とともに」という意識が抜けたわけではないが、確認して文言は検討して欲しい。

O委員：27ページの中学校給食では「親子調理方式」ではない方法も検討して欲しい。

座長：この計画に掲げてある事業の詳細は、今後、実施段階でさらに検討されるのか。

事務局：計画に掲げている事業を実施する際には、その詳細について、個別に委員会などを開催し、検討することになる。

座長：個々の事業は最終的に事務局に預ける形にしたい。

P委員：地域のコミュニティセンターの話が出てこないのは何故か。

事務局：コミュニティセンターは教育委員会の所管ではないため、掲載していない。

Q委員：場所があるのだから活用する必要はあるのではないか。「3 社会全体での教育力の向上」の他の機関との連携とも関連する。

R委員：コミュニティセンターの利用率は高い。教育委員会の所管ではなくても関連があるので取り組んで欲しい。

S委員：ここでいうことではないが、連携の視点も必要。

座長：横の連携のイメージ化で、6ページあたりで考えたらどうか。

座長：今回は、パブリックコメント後の1月を予定している。これがたたき台になる。添削して事務局まで送って欲しい。委員の意見とパブリックコメントの結果を合わせて最終形になる。文章の細かい部分まで添削して欲しい。

T委員：いつまでに送ればよいか。

事務局：今月中にいただければ、修正してパブリックコメントにかけることができる。

座長：その後であっても1月中旬くらいまでであれば、次回までに必要な箇所は反映してもらえるか。

事務局：パブリックコメントの実施と合わせて、各委員からも意見をいただければ、最終的には反映できる。

座長：今回は1月19日～23日の週で予定している。欠席の委員を含めて改めて日程調整する。

1月10日頃までに意見を提出して欲しい。

以上